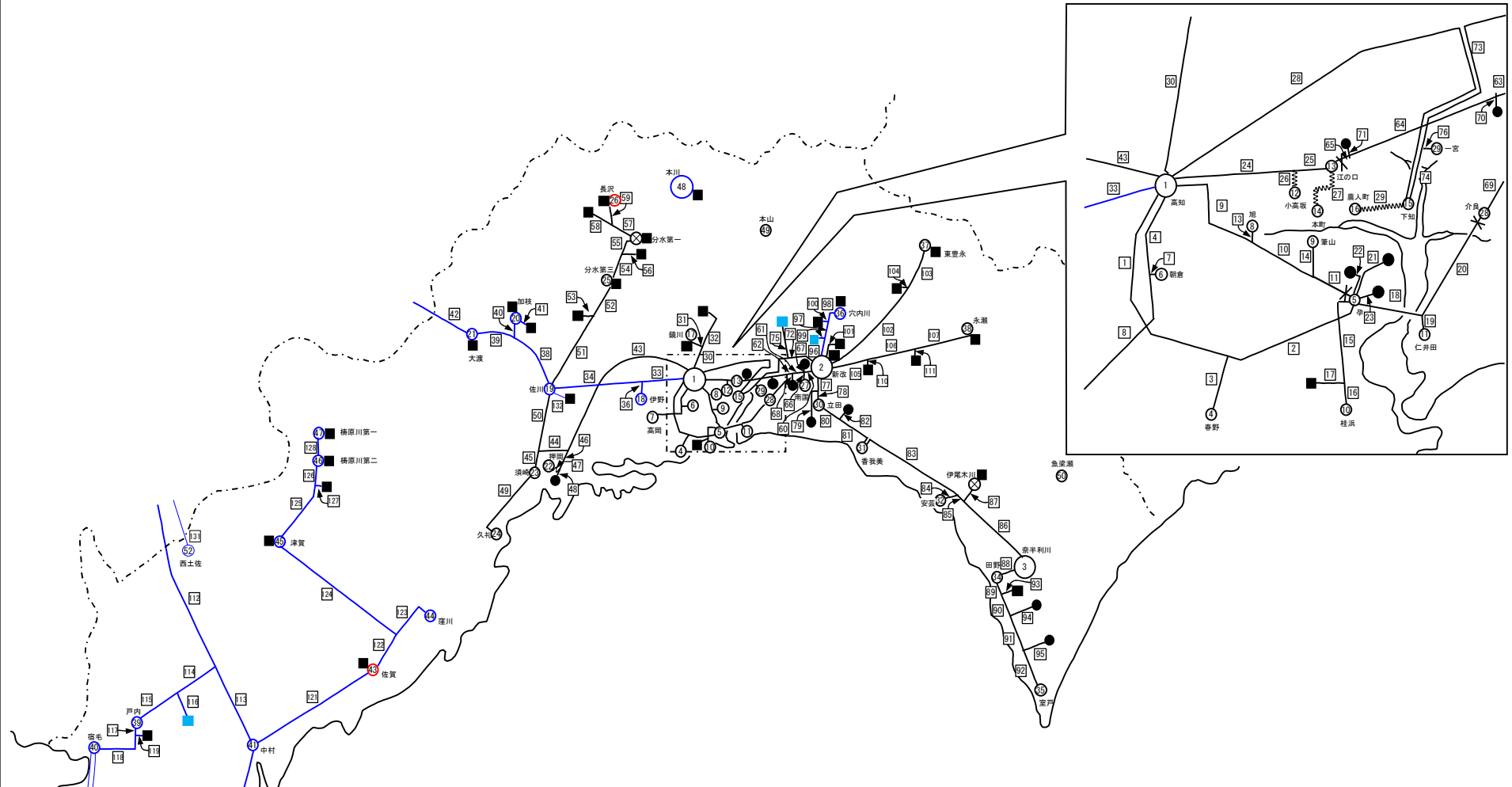


# [四国エリアの送電系統(66kV, 110kV以下の特高系統)]

高知県

【2026年4月1日更新】



【凡例】

- : 187kV変電所
- : 110、66kV変電所
- ⊗ : 開閉所
- : 需要家
- : 発電所(シミュレーション精度向上のための情報提供あり)
- : 発電所(上記以外)
- : 110、66kV送電線
- : 22kV送電線
- ( WWWW ) : 地中線を表す

【凡例の色分け】

黒色: 平常時出力制御\*1が発生する可能性が当面低い系統  
 赤色: 配電用変電所の空き容量が無い系統  
 一括検討プロセス実施中の系統  
 増強工事中の系統  
 青色: 平常時出力制御が発生する可能性のある系統  
 平常時出力制御が発生する可能性については、想定潮流の合理化の考え方\*2に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定しております。  
 \*1 系統容量の制約による出力制御  
 \*2 [https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330\\_souteichoryu\\_gourika\\_shiryou.html](https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryou.html)  
 (留意事項)  
 今後の増強工事等を反映した設備がある場合、工事等の完了までの間は記載内容と異なる場合があります。  
 対象設備については一覧表の備考欄をご確認ください。

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。  
※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。なお、N-1電制は費用便益評価により設置判断されるため、N-1電制適用可であっても、設置されるときは限りません。また、適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
  - #1 1回線送電線のため
  - #2 配電用変電所のため
  - #3 安定度制約のため
  - #4 2回線送電線の分割運用等のため
  - #5 1バンク変電所のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。
- (6) 平常時出力制御が必要となりうる設備欄は、平常時出力制御が発生する可能性について、想定潮流の合理化の考え方\*に基づいた将来の発電機出力・電力需要から想定し、該当設備を記載しております。  
\* [https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330\\_souteichoryu\\_gourika\\_shiryuu.html](https://www.occto.or.jp/access/oshirase/2017/180330_souteichoryu_gourika_shiryuu.html)
- (7) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (8) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (9) 既設電源アクセス線に新規電源が連系する際、系統増強が必要になる場合があります。詳細については、系統アクセス検討の中でお示しします。  
※電力広域的運営推進機関が公表している「系統の接続および利用ルールについて～ノンファーム型接続～」でも、新規電源連系時のアクセス線等の取扱いが整理されています。  
\* <https://www.occto.or.jp/grid/business/setsuzoku.html#non-firm>
- (10) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (11) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量値、N-1電制適用可否、N-1電制適用可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。
- (12) 潮流値は、アップ潮流最大時の潮流を現時点で想定される条件において算出したものであり、実際の潮流値と異なる可能性があります。
- (13) 個別需要が分かる専用線等や電源が1ユニットのみの電源線については第三者情報を排除するよう加工処理しております。
- (14) 予想潮流の数値は、潮流方向に記載している向きを正数として記載しています。また、変圧器予想潮流の数値は、高圧側から低圧側へ流れる方向を正数として記載しています。
- (15) 当社の公開する系統アクセス情報を利用される方が本情報を用いて行う一切の行為について、当社は責任を負いません。
- (16) ノンファーム型接続適用外の設備には、備考欄に“●”を記載しております。

送電線No	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	潮流方向	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制約の 可能性	平常時出力制約の可能性がある設備		備考
									当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系設備	
1	高知連絡線	66	2	394	197	熱容量	変1→変5	-23	-	-	可	197	-	-	-	
2	高知連絡線	66	2	394	197	熱容量	変1→変5	-15	-	-	可	197	-	-	-	
3	春野支線	66	2	130	65	熱容量	変1→変4	-8	-	-	可	65	-	-	-	※1
4	高岡線	66	2	250	125	熱容量	変1→変7	-20	-	-	可	125	-	-	-	
7	朝倉支線	66	2	130	65	熱容量	変1→変6	1	-	-	可	65	-	-	-	
8	高岡線	66	2	158	79	熱容量	変1→変7	-22	-	-	可	79	-	-	-	
9	孕線	66	2	158	79	熱容量	変1→変5	6	-	-	可	79	-	-	-	
10	孕線	66	2	158	79	熱容量	変1→変5	2	-	-	可	79	-	-	-	
11	孕線	66	2	158	79	熱容量	変1→変5	0	-	-	不可#4	-	-	-	-	※1
13	旭支線	66	2	130	65	熱容量	変1→変8	3	-	-	可	65	-	-	-	
14	華山支線	66	2	130	65	熱容量	変1→変9	2	-	-	可	65	-	-	-	
15	桂浜線	66	2	64	32	熱容量	変5→変10	-15	-	-	可	32	-	-	-	※1
16	桂浜線	66	2	64	32	熱容量	変5→変10	-15	-	-	可	32	-	-	-	※1
17	電源線	66	2	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
18	浦戸線	66	2	250	130	熱容量	変5→変11	-7	-	-	可	120	-	-	-	
19	浦戸線	66	2	158	79	熱容量	変5→変11	-7	-	-	可	79	-	-	-	
20	仁井田線	66	2	250	125	熱容量	変11→変28	0	-	-	不可#4	-	-	-	-	※1
21	需要家線	66	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
22	需要家線	66	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
23	需要家線	66	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
24	江ノ口線	66	2	394	197	熱容量	変1→変13	8	-	-	可	197	-	-	-	
25	江ノ口線	66	2	250	125	熱容量	変1→変13	9	-	-	可	125	-	-	-	
26	小高坂支線	66	2	116	58	熱容量	変1→変12	-2	-	-	可	58	-	-	-	
27	本町線	66	3	132	44	熱容量	変13→変14	8	-	-	不可#1	-	-	-	-	※1
28	下知連絡線	66	2	158	79	熱容量	変1→変15	-51	-	-	可	79	-	-	-	
29	農人町線	66	2	50	25	熱容量	変15→変16	-1	-	-	不可#1	-	-	-	-	※1
30	鏡川線	66	1	32	32	熱容量	変1→変17	-16	-	-	不可#1	-	-	-	-	※1
31	鏡川線	66	1	10	10	熱容量	変1→変17	-16	-	-	不可#1	-	-	-	-	※1
32	電源線	66	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
33	佐川線	66	2	394	161	安定度限界	変1→変19	-161	-	-	不可#3	-	有り	対象	-	
34	佐川線	66	2	394	161	安定度限界	変1→変19	-160	-	-	不可#3	-	有り	対象	-	
36	伊野支線	66	2	130	65	安定度限界	変1→変18	-2	-	-	不可#3	-	有り	-	送33.34	※1
38	大渡線	66	2	394	217	熱容量	変19→変21	-145	-	-	可	177	有り	-	送33.34	
39	大渡線	66	2	250	143	熱容量	変19→変21	-124	-	-	可	107	有り	-	送33.34	
40	加枝線	66	2	64	32	熱容量	変19→変20	-22	-	-	可	32	有り	-	送33.34	
41	電源線	66	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	有り	-	送33.34	◇
42	大渡面一線	66	2	172	86	熱容量	変21→変娘変76	-70	-	-	可	86	有り	-	送33.34	
43	須崎線	110	2	418	238	熱容量	変1→変19	-159	-	-	可	180	-	-	-	
44	須崎線	110	2	302	172	熱容量	変1→変19	-74	-	-	可	130	-	-	-	
45	須崎線	110	2	204	102	熱容量	変1→変19	-1	-	-	可	102	-	-	-	
46	押岡支線	110	2	302	151	熱容量	変1→変22	-85	-	-	可	151	-	-	-	※1
47	押岡支線	110	2	144	72	熱容量	変1→変22	-85	-	-	可	72	-	-	-	※1
48	需要家線	110	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
49	久礼線	110	2	130	65	熱容量	変23→変24	-4	-	-	可	65	-	-	-	
50	佐川連絡線	110	2	158	87	熱容量	変1→変19	-74	-	-	可	71	-	-	-	
51	分水第三線	110	2	158	87	熱容量	変19→変25	-74	-	-	可	71	-	-	-	
52	分水第三線	110	2	144	72	熱容量	変19→変25	-74	-	-	可	72	-	-	-	
53	電源線	110	2	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
54	分水第一線	110	2	144	72	熱容量	変25→分水第一	-55	-	-	可	72	-	-	-	
55	分水第一線	110	2	140	70	熱容量	変25→分水第一	-55	-	-	可	70	-	-	-	
56	電源線	110	2	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
57	大森川線	110	1	70	70	熱容量	分水第一→変26	-18	-	-	不可#1	-	-	-	-	※1
58	電源線	110	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
59	長沢線	110	1	18	18	熱容量	分水第一→変26	-18	-	-	不可#1	-	-	-	-	※1
60	新改線	66	2	394	197	熱容量	変2→変13	-4	-	-	可	197	-	-	-	
62	新改線	66	2	316	158	熱容量	変2→変13	4	-	-	可	158	-	-	-	
63	新改線	66	2	102	51	熱容量	変2→変13	0	-	-	不可#4	-	-	-	-	※1

送電線No	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	潮流方向	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制約の 可能性	平常時出力制約の可能性がある設備		備考
									当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系統設備	
64	新改線	66	2	102	51	熱容量	変2→変13	0	—	—	不可#4	—	—	—	—	※1
65	新改線	66	2	102	51	熱容量	変2→変13	0	—	—	不可#4	—	—	—	—	※1
66	南国支線	66	2	182	91	熱容量	変2→変27	-8	—	—	可	91	—	—	—	
67	需要家線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
69	介良線	66	2	216	108	熱容量	変2→変28	4	—	—	可	108	—	—	—	
70	需要家線	66	2	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
71	需要家線	66	2	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
72	下知線	66	2	158	79	熱容量	変2→変15	-30	—	—	可	79	—	—	—	
73	下知線	66	2	158	79	熱容量	変2→変15	-30	—	—	可	79	—	—	—	
74	下知線	66	2	158	79	熱容量	変2→変15	-30	—	—	可	79	—	—	—	
75	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
76	一宮支線	66	2	130	65	熱容量	変2→変29	-2	—	—	可	65	—	—	—	※1
77	立田線	66	2	250	125	熱容量	変2→変30	-53	—	—	可	125	—	—	—	*1
78	立田線	66	2	250	125	熱容量	変2→変30	-53	—	—	可	125	—	—	—	*1
79	需要家線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
80	香我美立田線	66	2	158	79	熱容量	変30→変31	-51	—	—	可	79	—	—	—	*1
81	香我美立田線	66	2	130	65	熱容量	変30→変31	-51	—	—	可	65	—	—	—	*1
82	需要家線	66	2	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
83	香我美支線	66	2	130	65	熱容量	変3→変31	-44	—	—	可	65	—	—	—	*1
84	安芸線	66	2	84	42	熱容量	変3→変32	-4	—	—	可	42	—	—	—	*1
85	安芸線	66	2	182	91	熱容量	変3→変32	-41	—	—	可	91	—	—	—	*1
86	安芸線	66	2	182	91	熱容量	変3→変32	-41	—	—	可	91	—	—	—	*1
87	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
88	奈半利川田野線	66	2	84	42	熱容量	変3→変34	-33	—	—	可	42	—	—	—	
89	室戸線	66	2	64	32	熱容量	変34→変35	-25	—	—	可	32	—	—	—	
90	室戸線	66	2	64	32	熱容量	変34→変35	-25	—	—	可	32	—	—	—	
91	室戸線	66	2	64	32	熱容量	変34→変35	-25	—	—	可	32	—	—	—	
92	室戸線	66	2	64	32	熱容量	変34→変35	-25	—	—	可	32	—	—	—	
93	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
94	需要家線	66	2	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
95	需要家線	66	2	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
96	穴内川線	66	1	47	47	熱容量	変2→変36	-47	—	—	不可#1	—	有り	対象	—	※1
97	穴内川線	66	1	65	65	熱容量	変2→変36	-47	—	—	不可#1	—	有り	—	送96	※1
98	穴内川線	66	1	32	32	熱容量	変2→変36	-47	—	—	不可#1	—	有り	—	送96	※1
99	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	有り	—	送96	◇
100	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	有り	—	送96	◇
101	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	有り	—	—	◇
102	豊永線	66	1	31	31	熱容量	変2→変37	-27	—	—	不可#1	—	—	—	—	※1
103	豊永線	66	1	31	31	熱容量	変2→変37	-27	—	—	不可#1	—	—	—	—	※1
104	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
105	物部川線	66	2	102	67	熱容量	変2→変38	-43	—	—	可	35	—	—	—	
106	物部川線	66	2	102	67	熱容量	変2→変38	-43	—	—	可	35	—	—	—	
107	物部川線	66	2	102	67	熱容量	変2→変38	-43	—	—	可	35	—	—	—	
110	電源線	66	2	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
111	電源線	66	2	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◇
112	広見中村線	66	2	394	124	安定度限界	愛媛変4→変41	-177	—	—	不可#3	—	有り	対象	基変22	
113	広見中村線	66	2	394	124	安定度限界	愛媛変4→変41	-72	—	—	不可#3	—	有り	—	基変22.送112	
114	北戸内支線	66	2	250	124	安定度限界	愛媛変4→変39	-106	—	—	不可#3	—	有り	—	基変22.送112	
115	北戸内支線	66	2	250	124	安定度限界	愛媛変4→変39	-106	—	—	不可#3	—	有り	—	基変22.送112	
116	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	有り	—	基変22.送112	◇
117	宿毛線	66	2	84	55	熱容量	変39→変40	-58	—	—	可	29	有り	—	基変22.送112	
118	宿毛線	66	2	64	42	熱容量	変39→変40	-58	—	—	可	22	有り	対象	基変22.送112	
119	電源線	66	1	—	—	熱容量	—	—	—	—	—	—	有り	—	基変22.送112	◇
120	清水線	66	2	42	21	熱容量	変41→変42	-8	—	—	可	21	有り	—	基変22.送112	
121	中村線	66	2	118	65	熱容量	変41→変43	-59	—	—	可	53	有り	—	基変22.送112	
122	窪川線	66	2	78	43	熱容量	変43→変44	-41	—	—	可	35	有り	—	基変22.送112	
123	窪川線	66	2	78	39	熱容量	変43→変44	-10	—	—	可	39	有り	—	基変22.送112	

送電線No	送電線名	電圧(kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	潮流方向	予想潮流 (MW)	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制約の 可能性	平常時出力制約の可能性がある設備		備考
									当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系統考慮	
124	津賀支線	66	2	86	43	熱容量	変43→変45	-32	-	-	可	43	有り	-	基変22.送112	
125	構原線	66	2	84	43	熱容量	変45→変46	-13	-	-	可	41	有り	-	基変22.送112	
126	構原線	66	2	42	21	熱容量	変45→変46	-13	-	-	可	21	有り	-	基変22.送112	
127	電源線	66	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	有り	-	基変22.送112	◇
128	構原川第一線	66	1	10	10	熱容量	変46→変47	-3	-	-	不可#1	-	有り	-	基変22.送112	※1
129	電源線	22	1	-	-	熱容量	-	-	2	-	不可#1	-	有り	-	基変22.送112.118	◇●
130	第二大月線	22	1	12	12	熱容量	-	-	7	-	不可#1	-	有り	-	基変22.送112.118	※1●
131	西土佐線	22	1	10	10	熱容量	-	-	9	-	不可#1	-	有り	-	基変22	※1●
132	電源線	22	1	-	-	熱容量	-	-	0	-	不可#1	-	-	-	-	◇●

\*1 2028年11月以降の想定を記載しており、それ以前は記載内容と異なる場合があります。また、今後の電源連系等に伴い変更となる場合があります。

変電所No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数) (MW)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	予想潮流 (MW)	空容量 (MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	平常時 出力制約の 可能性	平常時出力制約の可能性がある設備		備考
		一次	二次						当該設備	上位系統考慮				当該設備	上位系統設備	
2	新改変電所	66	6.6	1	9	9	熱容量	-	6	-	不可#2	-	-	-	-	※1●
4	春野変電所	66	6.6	1	14	14	熱容量	-	6	-	不可#2	-	-	-	-	※1●
4	春野変電所	66	22	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
5	孕変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	-	38	-	不可#2	-	-	-	-	●
6	朝倉変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	-	38	-	不可#2	-	-	-	-	●
7	高岡変電所	66	6.6	3	42	42	熱容量	-	18	-	不可#2	-	-	-	-	●
8	旭変電所	66	6.6	2	33	33	熱容量	-	33	-	不可#2	-	-	-	-	●
9	筆山変電所	66	6.6	2	28	28	熱容量	-	28	-	不可#2	-	-	-	-	●
10	桂浜変電所	66	6.6	2	23	23	熱容量	-	15	-	不可#2	-	-	-	-	●
11	仁井田変電所	66	6.6	3	38	38	熱容量	-	36	-	不可#2	-	-	-	-	●
11	仁井田変電所	66	22	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
12	小高坂変電所	66	6.6	2	57	57	熱容量	-	55	-	不可#2	-	-	-	-	●
13	江の口変電所	66	6.6	3	42	42	熱容量	-	41	-	不可#2	-	-	-	-	●
14	本町変電所	66	6.6	3	76	76	熱容量	-	76	-	不可#2	-	-	-	-	●
15	下知変電所	66	6.6	4	80	80	熱容量	-	80	-	不可#2	-	-	-	-	●
16	農人町変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	-	37	-	不可#2	-	-	-	-	●
17	鏡川変電所	6.6	6.6	1	3	3	熱容量	-	2	-	不可#2	-	-	-	-	※1●
18	伊野変電所	66	6.6	3	52	52	熱容量	-	48	-	不可#2	-	有り	-	送33.34	●
19	佐川変電所	66	6.6	3	33	33	熱容量	-	22	-	不可#2	-	有り	-	送33.34	●
19	佐川変電所	66	22	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	有り	-	送33.34	◇
20	加枝変電所	66	6.6	1	4	4	熱容量	-	3	-	不可#2	-	有り	-	送33.34	※1●
21	大渡変電所	66	6.6	1	9	9	熱容量	-	8	-	不可#2	-	有り	-	送33.34	※1●
22	押岡変電所	110	6.6	1	14	14	熱容量	-	14	-	不可#2	-	-	-	-	※1●
22	押岡変電所	110	22	2	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
23	須崎変電所	110	6.6	2	28	28	熱容量	-	28	-	不可#2	-	-	-	-	●
23	須崎変電所	110	22	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
24	久礼変電所	110	6.6	2	19	19	熱容量	-	14	-	不可#2	-	-	-	-	●
25	分三変電所	6.6	6.6	1	2	2	熱容量	-	2	-	不可#2	-	-	-	-	※1●
26	長沢変電所	110	6.6	1	5	5	熱容量	-	0	-	不可#2	-	-	-	-	※1●
27	南国変電所	66	6.6	2	33	33	熱容量	-	25	-	不可#2	-	-	-	-	●
28	介良変電所	66	6.6	3	47	47	熱容量	-	47	-	不可#2	-	-	-	-	●
29	一宮変電所	66	6.6	1	19	19	熱容量	-	17	-	不可#2	-	-	-	-	※1●
30	立田変電所	66	6.6	3	47	47	熱容量	-	44	-	不可#2	-	-	-	-	●
31	香我美変電所	66	6.6	2	38	38	熱容量	-	29	-	不可#2	-	-	-	-	●*1
32	安芸変電所	66	6.6	3	47	47	熱容量	-	41	-	不可#2	-	-	-	-	●*1
32	安芸変電所	66	22	1	-	-	熱容量	-	-	-	-	-	-	-	-	◇
34	田野変電所	66	6.6	3	23	23	熱容量	-	14	-	不可#2	-	-	-	-	●*1
35	室戸変電所	66	6.6	3	23	23	熱容量	-	20	-	不可#2	-	-	-	-	●*1
36	穴内川変電所	66	6.6	1	7	7	熱容量	-	5	-	不可#2	-	有り	-	送96	※1●
37	東豊永変電所	66	6.6	2	16	16	熱容量	-	7	-	不可#2	-	-	-	-	●
38	永瀬変電所	66	6.6	2	5	5	熱容量	-	1	-	不可#2	-	-	-	-	●
39	戸内変電所	66	6.6	2	28	28	熱容量	-	10	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	●
40	宿毛変電所	66	6.6	2	28	28	熱容量	-	25	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112.118	●
40	宿毛変電所	66	22	2	28	28	熱容量	-16	-	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112.118	●
41	中村変電所	66	6.6	3	52	52	熱容量	-	45	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	●
42	清水変電所	66	6.6	3	28	28	熱容量	-	20	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	●
43	佐賀変電所	66	6.6	2	19	19	熱容量	-	0	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	●
44	窪川変電所	66	6.6	2	23	23	熱容量	-	13	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	●
45	津賀変電所	66	6.6	1	5	5	熱容量	-	4	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	※1●
46	橋原川第二変電所	66	6.6	1	4	4	熱容量	-	2	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	※1●
47	橋原川第一変電所	66	6.6	1	7	7	熱容量	-	6	-	不可#2	-	有り	-	基変22.送112	※1●
48	本川開閉所	187	6.6	1	5	5	熱容量	-6	-	-	不可#2	-	有り	対象	-	※1●
49	本山変電所	13	6.6	2	16	16	熱容量	-	11	-	不可#2	-	-	-	-	●
50	魚梁瀬変電所	13	6.6	1	2	2	熱容量	-	1	-	不可#2	-	-	-	-	※1●*1
51	大月配電塔	22	6.6	1	5	5	熱容量	-	1	1	不可#2	-	有り	-	基変22.送112.118	※1●
52	西土佐配電塔	22	6.6	1	4	4	熱容量	-	3	3	不可#2	-	有り	-	基変22	※1●

\*1 2028年11月以降の想定を記載しており、それ以前は記載内容と異なる場合があります。また、今後の電源連系等に伴い変更となる場合があります。